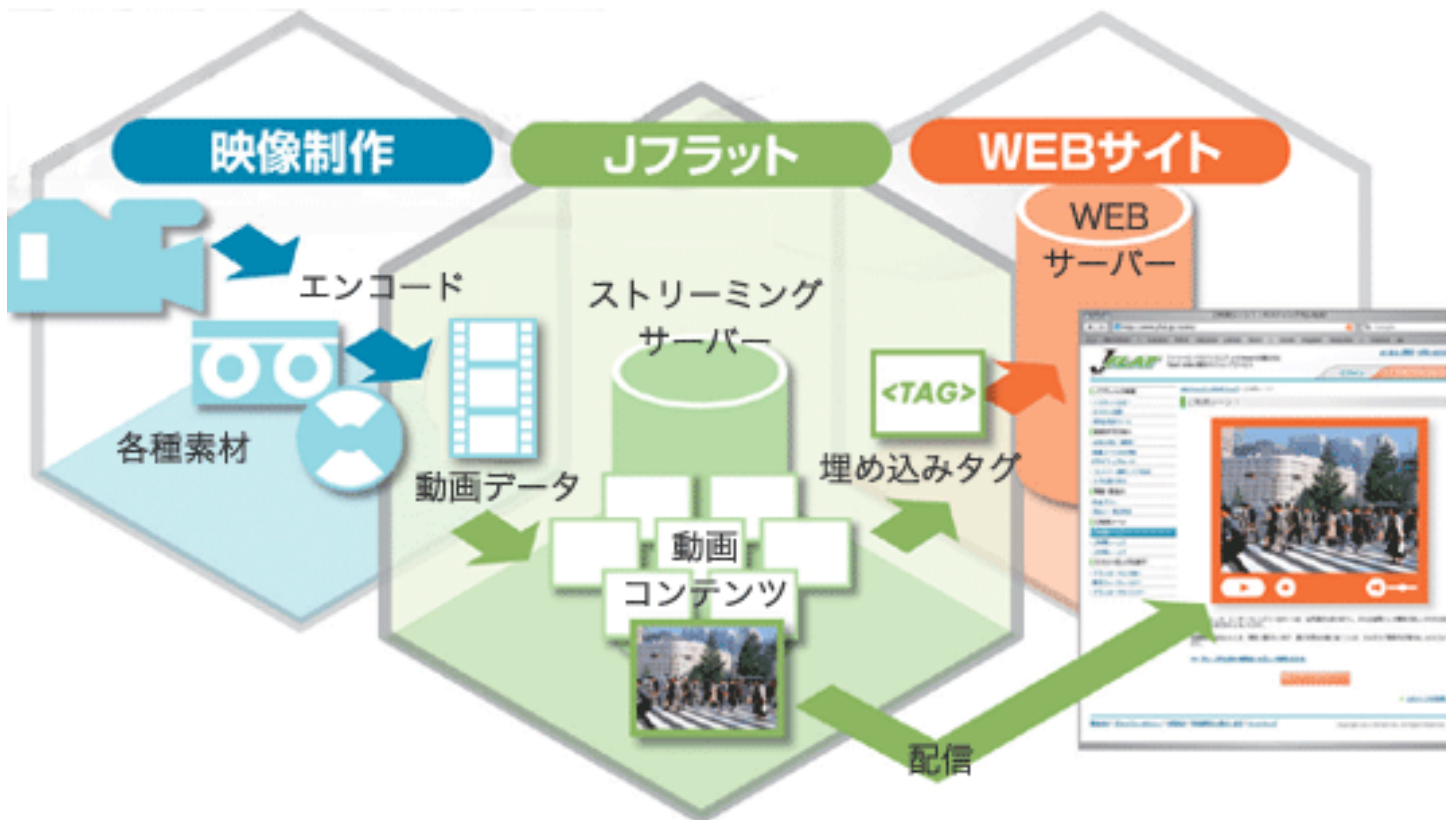


動画配信ASP『JFLAT』のご紹介

株式会社 Jストリーム



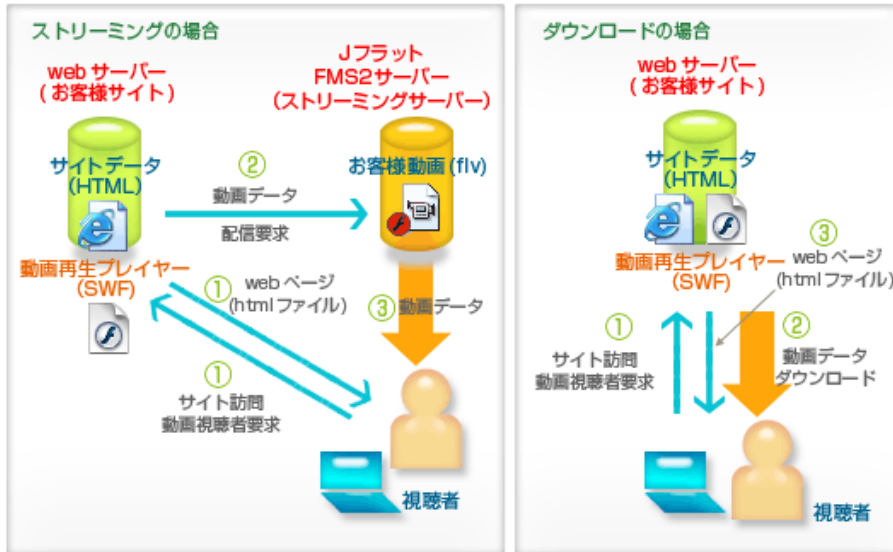
JFLATはFlash Videoストリーミングサーバーのホスティングを、オンラインで提供するサービスです。2006年のサービス開始以来、**既に300件を超える**案件での**ご利用実績**がございます。誰でも**簡単に扱える便利さ**と、**安心感**、そして同クラスのサービスと比較しても、**格安な価格設定**をご確認ください！

JFLATはストリーミング配信です。以下のようなメリットを享受頂けます。

- 動画ファイルが視聴者のPCにキャッシュされず、**著作権上のトラブルを回避**。
- Webサーバーへの**負荷の軽減**。
- 即座に再生開始が可能で、視聴者の**ストレスなし**。
- 「**視聴時間がどの程度か**」といった**マーケティングデータが取得可能**。

ダウンロードとのサーバー構成の違い

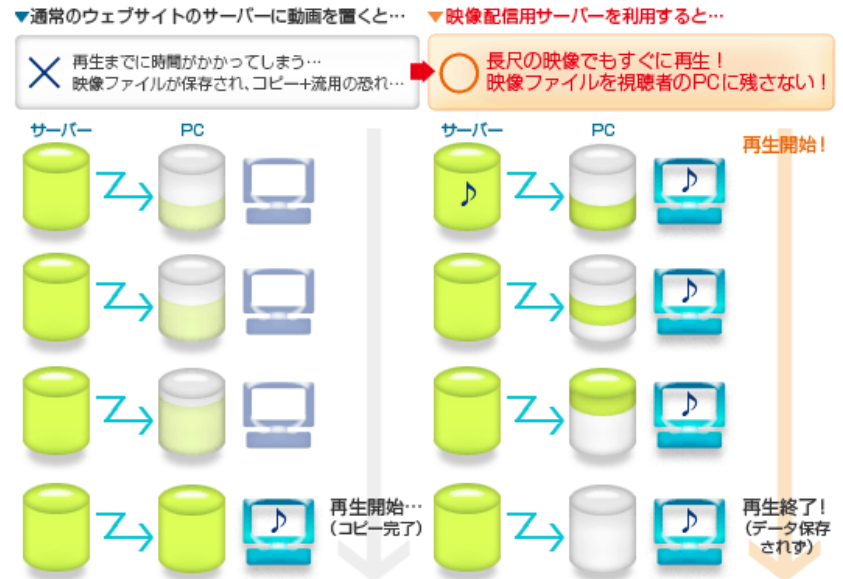
図1. ダウンロードとのサーバー構成の違い



サーバー構成での一番の違いは上図の通り、ストリーミングの場合は動画配信部分をストリーミングサーバーとして別のサーバーに切り出してる点です。

ダウンロードとのデータ配信方法の違い

図2. ダウンロードとのデータ配信方法の違い



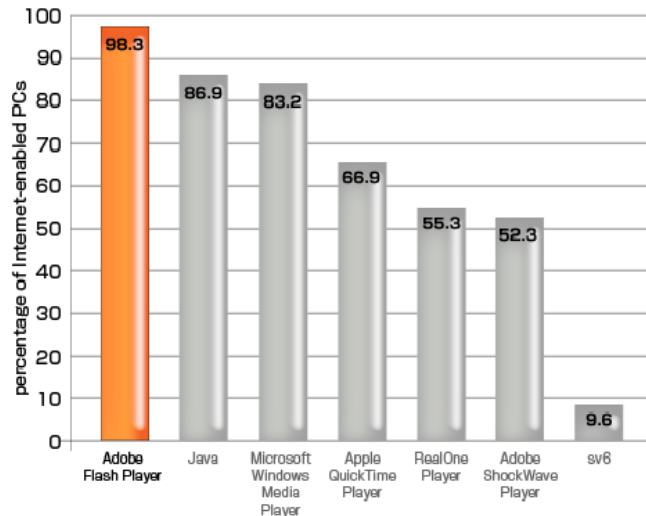
一番の違いはダウンロードは、一度ファイルをパソコンに落としてから再生するのに対して、ストリーミングは、音声や動画ファイルなどを受信しながら再生を行うことです。

JFLATはFlash Media Server 3.5による配信です。以下のようなメリットを享受頂けます。

- 暗号化配信（RTMPE配信）により、リッピング対策が可能。
- Flashだけでなく、H.264のストリーミング配信にも対応。今までのOn2VP6コーデックと比べ、より高画質な動画の配信が可能となりました。HD対応のビデオで撮影した高画質な映像の配信などにも最適です。

■ プラグイン普及率98%

図1. インターネットユーザーに対する普及率



出典：アドビシステムズ社の以下のページから転載。
http://www.adobe.com/products/player_census/flashplayer/
Millward Brown survey, conducted December 2006. See Methodology Section for details on the Millward Brown study.

Flashはブラウザーのプラグインとして最も広く普及しており、その普及率は実に98%以上になります。動画配信する上でのプラグイン率は実に大きな影響をもたらします。

インターネットに接続されているコンピューターのOSやブラウザーなどの普及率はまちまちですが、そのような中で、圧倒的に普及しているFlashを採用するのは、ビジネスシーンに最適であると言えますし、それだけで採用メリットがあります。

JFLATは無償でご利用いただけるツールも充実しています。

- **アクセスログ参照機能**により、ビジネスシーンで不可欠な視聴アクセスログをブラウザ上で確認可能。
- **JFLAT標準プレイヤー**により、デザインとオプションを選ぶだけで、簡単に導入可能。
- **自動タグ生成機能**により、JFLAT標準プレイヤーを埋め込むために必要なタグを自動で生成可能。
- **プレビュー機能**により、アップロードされた動画ファイルをブラウザ上で確認いただけます

図2. アクセスログ参照画面

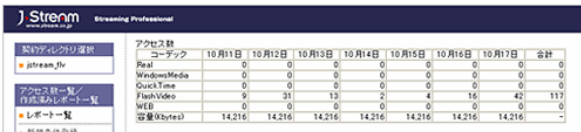
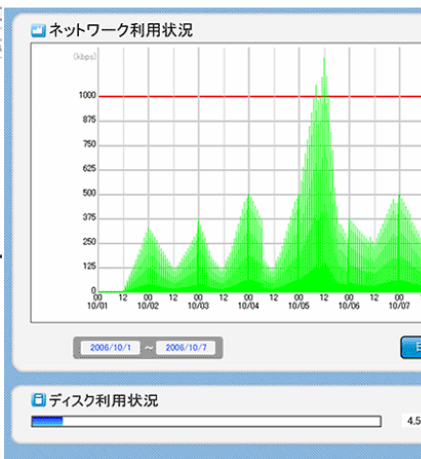


図4. ネットワーク利用状況画面



JFLAT標準プレイヤーは3種類！ ページ構成に合わせてご選択頂けます。

- **Jストリームは国内で初めてストリーミングサービスを提供した企業である自負と、国内最長の経験・ノウハウがあります。**
Jフラットにも、当然それらの経験に培われた技術を採用し、**サーバーの冗長構成**のみに留まらず、**ネットワーク全体の冗長構成**を構築しており、お客様からお預かりした動画データに対して、**万全のシステム体制**を構築しております。
- **障害監視につきましても、24時間365日での監視体制にて、万が一のハードウェア障害などに対し、発生時にも迅速な対応・早期の復旧が可能な体制を維持することにより、総合的にお客様への高いサービス品質をご提供できるようにしております。**

もっと素敵な伝え方を。



step **1** FLVを準備

step **2** FTPでアップロード

step **3** プレイヤー選択

step **4** タグの発行

自動タグ生成画面(step4)



step **5** サイトへ貼り付け

プレイヤー選択画面(step3)



この画面で、①プレイヤーの選択、②タグの発行が可能です。



**配信
開始**

		FLAT6M	A社配信サービス	B社配信サービス
同時接続数 (ビットレート300bps)		20 (帯域保障)	50 (但し共用=保障なし)	10
ディスク容量		5GB (※期間限定キャンペーン)	50MB	500MB
無償プレイヤー		標準提供	オプション	なし
申込方法		ネット完結・プラン選択	対面販売のみ=煩雑	ネット完結・DIY方式
価格	初期費用	¥5,250	¥42,000	¥10,290
	月額費用	¥36,800	¥42,000	¥64,575

※期間限定キャンペーンのみの適用です。詳細についてはお問い合わせください。

様々な動画配信ASPサービスが存在しますが、本当に必要な機能について、高いサービス品質で提供されているものは限定的です。必要度の低い機能の羅列で価格を引き上げているケースも散見されます。

上図において、**JFLATのFLAT6M**と同等クラスの他社サービスと比較した結果をご確認頂けます。同時接続数とディスク容量の**バランスの良さ**や、**必要度の高いツール群の無償提供**、更に**ネットにて全て完結**することが可能な**利便性、即応性の高さ**、といったJFLATの持つ優位性について、ご提供価格帯を含めてご覧ください。

JFLATは全部で2つの料金プランから、お客様のニーズに合わせてご選択頂けます。
お客様が想定されている最大同時アクセス数をご考慮の上で、ご選択ください。

	保障帯域	最大同時アクセス数[理論値] (300kbpsの動画の場合)
FLAT6M	6Mbps	21
FLAT10M	10Mbps	35

- 保障帯域を超えたアクセスに対してはアクセス制限がかかります。
- 保障帯域を超えたアクセスがあっても追加費用はかかりません。
- 保障帯域を超える瞬間のアクセスまで配信が可能です。
- 最大同時アクセス数の算出式は次のとおりになります。
保障帯域(Mbps)×1024÷配信動画のビットレート(Kbps)
※1Mbps=1024Kbps
※小数点以下切り上げになります

ストリーミングサービスで広がる

Webの特徴を生かした映像コンテンツの可能性

映像コンテンツをよりスムーズに、効果的に配信する方法が「ストリーミング配信」だ。ダウンロード配信を選ぶことももちろん可能だが、一方のストリーミング配信にはより多くのメリットが含まれているという。ではストリーミング配信のメリットとは、具体的にどんなものなのだろう？ 数々の映像コンテンツを制作しているWebプロダクション、ハイデザインズのクリエイターに、その魅力をお聞かせした。

Text: 佐々木尚輝
Photo: 五城英樹 (STRORROB)

映像コンテンツを活性化させる ストリーミング配信

株式会社ハイデザインズは、魅力的なWebサイトを数多く前に送り出している総合Webプロダクションである。サイトの設計やデザインだけでなくシステムにもこだわり、自社でCMSを開発。クオリティの高いWebサイトを制作・運営するプロフェッショナルチームだ。

そんな同社が、今、強く実感しているというのが「映像ニーズの高まり」という。

「映像に対するニーズは数年前に比べて確実に増えています。現状では、TVCMのようなものをWebで流したいという要望が多いように感じています。その他、CMとWebを連携させる「つづきはWebへ」系のコンテンツも流行り、TV感覚の身近なものとして、Webの映像コンテンツが受け入れられるようになってきたと思います」(同社アートディレクター 白井千博氏)

そうなる当然、よりストレスの少ない映像配信が求められるようになる。そこで同社が着目したのがストリーミング配信なのだ。

「正確なところ、ユーザーやクライアントはダウンロード配信がストリーミング配信かということをおまわり意識していません。ですが、ストレスを感じさせずに見てもらうにはストリーミング配信の方が適しています」と代表取締役の村上英夫氏は言う。その他、著作権をしっかりと保護できるという点もストリーミング配信の大きなメリットのようだ。「データがローカルにダウンロードされないで、権利関係の制約が厳しいコンテンツでも安心して配信することができる。こういった点からも、積極的にストリーミング配信を取り入れたいと考えています」(村上氏)

こう語るようにストリーミング配信には、ダウンロード配信にはないメリットが数多くある。

ストリーミング専門の サービスで効率アップ!

そんな同社は、映像配信を行っているサイトの案件において、ダウンロード形式からストリーミング形式に変更した。そのとき、選んだストリーミングサービスが「アラホ」だ。自社でサーバを立てるよりも圧倒的に簡単で、同時にコストが抑えられるところやクライアントへの提案のしやすさも魅力だったようだ。

「アラホを導入したところ、「ダウンロード配信では分からない、映像コンテンツに関する詳細な閲覧アクセスログを閲覧できるメリットを感じている」(村上氏)という。また、映像コンテンツはもちろん、Web全般的な傾向として、視聴率やコンバージョンがシビアに求められることが多い。実際にクライアントからアクセスログの提出を求められたとき、すぐに対応できるのも一つのポイントだろう。さらにアクセスログを分析することで今後のコンテンツの展開も検討できる。

「最近、ストーリー性のある映像コンテンツを制作

したことがあったのですが、ログを見れば、映像のどの位置でユーザーが離脱したのかが一発でわかります。これらの根拠に基づいて徹底的に調整できるので、細かいログが取れるという点でもありがたいサービスだと感じています」(白井氏)

もっとも効果的なストーリーになるよう再構成したり、CMを入れるタイミングを検討するための効果的な判断材料としてログを利用することができるのだ。

その他、映像コンテンツのストリーミング配信を始める前後で、クライアントの映像コンテンツに対する反応も変わったようだ。BioBの動画を作る際、音の出る映像は嫌がられる場合もあるが、実際に作ってみると「映像をら観しやすさを効果的にアピールできるという側面がわかり、高評価に繋がるケースが多い」(白井氏)という。「こうしたASPサービスはどこでも使えるし、手軽で便利。我々がテレビ局のようにドカンと放送局を作ってインフラを構築するというのはおかしな話から、アラホのようなサービスを任せて仕事をさせる機会がこれからはますます増えてくると思いますよ」(村上氏)

より良いインフラサービスを見つけて出し、しっかりと活用すること。それが、これからやってくる映像コンテンツ新時代を生き抜くための「成功の条件」なのかもしれない。

今後はよりWebらしい インタラクティブな映像が主流に

「ユーザーがストーリーを選択するような映像コンテンツは増えてきていますが、それ以上にWebならではの映像コンテンツが増えてくるのではないのでしょうか。僕らも今提案している最中なので、あまり詳しくは言えませんが(笑)」(白井氏)

映像と言われるとついCMのようなものやインタビューなどの動画をイメージしてしまいがちだが、これからは観客観念に拘われない、より自由な表現が生まれてくる。「こうした新しい表現をクライアントやユーザーに広めていくのも、Webクリエイターたちの大事な仕事」だと語る両氏。

ハイデザインズの映像への挑戦は、これから、ますます活発な動きを見せることになりそうだ。

「もっと知ろう、JMAC」

日本経済新聞の取材で、JMACの取り組みについて紹介されています。JMACに対する理解を深めて、企業活動に活かすための取り組みについて紹介されています。ユーザーに合わせたサービスを提供するための取り組みについて紹介されています。



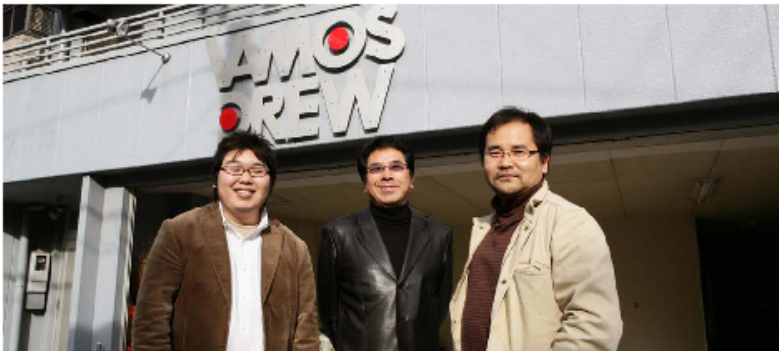
株式会社ハイデザインズ
代表取締役 村上英夫(左)、アートディレクター 白井千博(右)

Jflat : Business Streaming Service

魅せたい映像を、妥協なく、より鮮やかに

Jフラットが拓く映像配信の新しい世界

ここ一、二年で、すっかりWebコンテンツの主流の一つとなった感のある映像配信。その映像配信を効果的に活用したサイトを制作している(株)パモスクルーと(有)アニモの方々には、映像配信の魅力や制作上の注意点を、そしてその映像配信に利用した(株)JストリームのFlash Videoストリーミング配信サービス「Jフラット」についての話を伺った。



写真左から 電通会社アニメーション課長平氏、株式会社パモスクルー代表取締役高須第一氏、株式会社パモスクルー 林正人氏

愛知県名古屋市に拠点を置くパモスクルーとアニモは、CM、ビデオパッケージ、イベント映像やテレビ番組などの企画・制作を手がけている会社だ。パモスクルーは主に映像制作全般を、アニモは映像編集、CG制作、Web制作などを担当している。

パモスクルーとアニモでは、その映像制作における豊富な経験を活かし、Webサイトへの映像コンテンツの導入に積極的に取り組んでいる。現在公開されている主なサイトとしては、住宅メーカーの一条工務店が運営する映像専門サイト「ichijo.tv」(http://ichijo.tv)や、医学部や歯学部などの医系専門予備校メディカルラボのWebサイト (http://medical-labo.com) などがある。いずれのサイトも、高精細の映像コンテンツをアクセシユザーにストレスを感じさせることなくスムーズに表示しているのが印象的だ。

Webサイトを使った映像配信ならではの面白さや強みとは、どんなところにあるのだろうか？

「Webサイトには、そのほか商品やサービスの中し込みに直接架けることができるという特徴があります。映像配信を導入して、それが終わったら中し込み画面が表示されるようになれば、映像の効果がそのまま形となって現れるので、わかりやすいんですよ。それがまた、クライアントが自社サイトへの映像配信の導入を検討する理由になりますし」とアニモの鈴木平氏。実際にDVDやパンフレットなどからの中し込みより、映像配信コンテンツを経由した中し込みの方が多い例もあるという。

また、パモスクルー代表取締役の高須第一氏は「クライアントにWebサイトでの映像配信を提案する際は、先方が考えている企画全体のことでも考慮した上で話を打ちかけるのですが、最近では、Webで映像配信をやりましようと言うと、DVDの制作などよりも話に乗ってくださる確率が高いと感じています」と話す。クライアントの予算やニーズに合わせて、いかにいい企画を

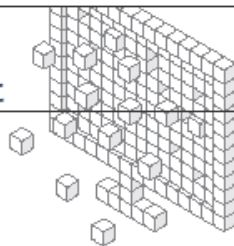
立てられるか、いかにうまく映像配信のアイデアを入れ込めるかがポイントとなっているようだ。こうしたWebを促した映像配信を導入する際、気をつけるべき重要なことは何なのだろうか？ 「やっぱり、映像の中身が問題なんです。メディアがWebに変わっても、我々は自分たちが昔からやってきた「まず映像をきちんと作って見せること」にこだわりを持っているし、それが大事だと感じています。もちろん、クライアントやユーザーが何を求めているか、そのためにはどういった映像を伝えたいのかということも、常に考えておく必要があると思います」と語るのは、パモスクルーのコンテンツディレクター、林正人氏。「何かを説明しようとする時、映像の方がわかりやすく、説得力のあるものが作れるという自信が我々にはありますから」という林氏の言葉には、高須も納得した。高須は、高須が感じている。

パモスクルーとアニモでは、映像配信に利用

するプラットフォームにもこだわりがあるようだ。パモスクルーとアニモが採用しているのは、Jストリームが提供するFlash Videoのストリーミング配信サービス「Jフラット」。数ある映像配信手段の中から、この「Jフラット」を選んだ理由は何なのだろうか？ 「まず、Jストリームさんが持っている映像配信の強力なインフラを、そのまま利用できるというのは画期的な提案ですね。Flash Videoのストリーミング配信サービスとしては、料金も非常に安いのも魅力的です。他社のサービスもいくつかテストしてみたのですが、Jフラットのインフラには、絶対的な信頼感がありました。非常にい

ものも提供していただいたというか……やっちゃっていいんですか？ と思うくらいです」と林氏は言う。Jフラットを利用したWebコンテンツ制作について、鈴木氏は次のように話している。「映像コンテンツをインストールしたクライアントから見ると、「表示がすごく早いですね、いつローディングしているんですか？」とよく聞かれます。Jフラットはストリーミング配信なので当然といえば当然ですが、早送りなどの機能のサービスのレスポンスの速さには、クライアントも驚かれますね。今まで利用していても特に問題なく安定して動作していますし、トラブルもないんで

すよ。あと、アクセスログをいつでも見ることができると、月に一回程度、ログをクライアントに提出するといったことも実施しています。サービスを申し込んだらすぐに利用できるというのも便利です。」パモスクルーとアニモでは、今後さらにネットの回線状況が改善されてきたら、ハイデブでの映像配信にも挑戦したいと考えているという。時間軸の概念を導入した新しい表現のWebサイトを制作したいとも、「作っている人間の意図がきちんと反映されるような映像を作りたい」というパモスクルーとアニモのこれからの挑戦に期待したい。



ichijo.tv
http://www.ichijo.co.jp/
1978年創業の住宅メーカー、一条工務店が運営する映像専門サイト「ichijo.tv」。同社の住宅ラインアップのほか、キッチンや収納、家具住宅などといった話題について、テレビ番組のチャンネルのようなスタイルで豊富な映像コンテンツを提供している



メディカルラボ
http://medical-labo.com/
医学部や歯学部などの受験を目指す学生のための医系専門予備校、メディカルラボのサイト。高校の受験や個人別学習プログラム、一对一のプライベート授業などを紹介した、作り込まれた映像が配信されている



「リッチコンテンツ」のビジネス活用におけるリーディングカンパニー

- 日本で最初のネット動画配信専業会社として誕生。（1997年5月～）
- 世界初を含む多数の実績で、ネット動画をはじめとするリッチコンテンツに関し、日本の業界を牽引。
- 年間取引社数 600社 以上（昨年度実績）。
- リッチコンテンツの企画から制作、配信インフラの提供、効果検証までをワンストップで提供。



日本初のオンラインプレゼンテーションサービス
ePresenter



成功する企業サイトのための
無料小冊子・シリーズ刊行



Webマーケティングの総合情報サイト
「リッチコンテンツ・マーケティング情報局」



日経BP社刊
「リッチコンテンツ・マーケティングの時代」
協力：Jストリーム

- **電話でのお問い合わせ**

0120-65-8140

(平日10:00~18:00での受付とさせていただきます)

- **メールでのお問い合わせ**

<http://www.jstream.jp/contactus/>

お気軽にお問い合わせください！